

# 2023 年度 事業計画書

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

定款第 3 条の目的を達成するため、定款第 4 条に基づき次の事業を行う。なお、下記記載金額は直接経費である。

## 【1】図書館振興助成事業

### (1)2023 年度振興助成の交付を実施する。

2023 年度振興助成は 2022 年度中に公募を行い、添付に示す事業者を決定した。4 月以降に交付を行う。総額は 56,720,397 円。

### (2)2024 年度振興助成の公募を実施する。

事業予算 7,000 万円を助成する。

応募要項を財団ホームページに掲載し、公募する。

以下のテーマについて公募を行う。

- ①図書館運営に対する助成
- ②これからの図書館のあり方に関する調査・研究およびその実践・実験に対する助成
- ③図書館をはじめとする文化・教育資源保有施設が所有するコレクションの活用を推進する事業に対する助成
- ④「調べる学習」「読書活動」を推進する学校図書館に対する助成

公募期間：2023 年 9 月～11 月

選考時期：2023 年 12 月～2024 年 1 月

交付時期：2024 年 4 月以降

1 件あたり助成金上限：①②③原則 1,000 万円 ④100 万円

・審査料及び交通費等諸経費として 13 万円の事業費を予定する。

## 【2】図書館利用促進事業

### (1)第 27 回「図書館を使った調べる学習コンクール」の実施

①下記を目標に実施する。

目的 図書館の利用促進と調べる学習の普及

目標 応募作品数 :120,000 作品<2022 年度 113,450>

地域コンクール開催:160 自治体 <2022 年度 151 自治体>

地域コンクール開催の募集期間:2023 年 4 月～2023 年 5 月末

地域コンクールからの推薦作品を全国コンクールで審査する。

地域コンクールを開催していない地域からの応募作品は、図書館振興財団で受け付ける。

#### 全国コンクール作品募集要項

募集する作品：公共図書館や学校図書館を使って調べ、過程や結果をまとめた作品

テーマは自由

「図書館を使った調べる学習」を支援した活動をまとめたレポート

募集部門：調べる学習部門

小学生の部、中学生の部、高校生の部、大人の部(大学生・社会人等)、子どもと大人の部

調べる学習指導・支援部門

募集対象は、調べる学習を指導・支援した個人や団体

※大学等の専門機関における研究成果は対象外とする。

募集期間：2023年9月11日～10月2日必着(予定)

結果発表：2024年1月11日 図書館振興財団ホームページ

表彰式：2024年3月上旬(予定)

賞(申請予定)：(作品表彰)

文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞、優秀賞、優良賞、奨励賞、佳作

(地域コンクール主催者表彰)

総務大臣賞、「図書館を使った調べる学習」活動賞

後援団体(申請予定)

文部科学省/観光庁/環境省/総務省/2030 生物多様性枠組実現日本会議/  
東京都教育委員会/一般財団法人日本児童教育振興財団/公益財団法人海外  
子女教育振興財団/公益財団法人大宅壮一文庫/公益社団法人日本図書館協  
会/公益社団法人読書推進運動協議会/日本児童図書出版協会/読売新聞社/  
活字文化推進会議/株式会社毎日新聞社/株式会社日本教育新聞社/株式会  
社教育新聞社/一般社団法人全私学新聞/株式会社教育家庭新聞社/NHK

協賛団体(申請予定)

大日本印刷株式会社/丸善雄松堂株式会社/株式会社図書館流通センター/株  
式会社カーリル/株式会社丸善ジュンク堂書店

②2022年度(第26回)の入賞作品のうち、文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性  
枠組実現日本会議」賞等の受賞作品の中からレプリカ(複製)を作成する。財団ホームページで全  
ページ公開する。

③「図書館を使った調べる学習コンクール」を一定地域内で開催する「地域コンクール」を募集し、増

やすための推進活動を行う。

④コンクールの主旨と合致する他者の事業を後援する。

⑤調べる学習指導者による講座・研修等

自治体等の要望に応じ、財団の講師が各地の講座・研修等に携わるほか、指導実績のある講師を紹介することにより、調べる学習のさらなる推進を図る。

・協賛金等を含め計 70 万円の収益を予定する。

・表彰式および審査会の開催、および募集にかかる経費等として 3,130 万円の事業費を予定する。

## (2)選書事業

近刊情報を元に、図書館にふさわしい本を選書することを目的に、下記 2 分野において原則、毎月選書し、選書結果を財団のホームページで公開する。

なお、新型コロナウイルスによる社会情勢の変化を鑑み、2022 年度まで実施していた児童書選書事業、学校図書館選書事業、科学読み物選書事業の内容が、①新刊選書事業 ②専門書・学術書選書事業の事業内容に一部含まれていることから、2023 年度より、これら 3 つの選書事業を①②に統合することとした。

①新刊選書事業…主に公共図書館にふさわしい本の選書を行う。

②専門書・学術書選書事業…公共図書館等にふさわしい専門書・学術書の選書を行う。

・選書員謝金等諸経費として130万円の事業費を予定する。

## (3)友の会「図書館の学校」の運営

財団の事業への支援を目的に、友の会「図書館の学校」を運営する。

・会費は1口 3,000 円とし、会員 1,000 人を目標とする。

・会員管理のための諸経費として 12 万円の事業費を予定する。

## 【3】図書館活性化事業

### (1)機関誌『図書館の学校』の発行

①図書館振興助成事業および利用促進事業等の周知を目的に、機関誌『図書館の学校』(季刊)を発行する。一刊の発行部数は 1,500 部を予定する。

②友の会「図書館の学校」の会員には無償とし、その他は原則有償 (本体1冊 1,000 円)頒布とする。

・会員外販売および広告費等含め計 205万円の収益を予定する。

・取材・編集および頒布等諸経費として 1,343 万円の事業費を予定する。

## (2)「第 25 回図書館総合展 2023」への参画

財団活動事業全般の理解を広めるとともに社会的関心を高めるための、ブース出展等広報活動を行う。

・出展料、装飾等諸経費として 150 万円の事業費を予定する。

## (3)研修事業

研修事業について、今年度は調査及び研究を実施する。

## (4)提案型事業

図書館振興に関する提案型事業

デジタルネットワーク社会に対応した新たな図書館サービスの構築を目的とする提案事業について助成する。当事業については個別に助成規準を設定し、募集を行い実施する。

・事業継続のための基金として、株式会社図書館流通センターに引き続き寄附を要望する。

## (5)調査研究事業

今年度は、調査研究に値する課題を検討する期間とする。

## 【4】不動産の貸付に関する事業

公益目的事業の推進に資するために行う不動産の貸付に関する事業を実施する。

2022 年度における地代収益は 420 万円、費用は固定資産税等 48 万円を予定する。

## 【5】共通事業

上記【1】【2】【3】【4】の事業の共通諸経費として、5,525 万円の事業費を予定する。

以上